

# MCC

## カットベンダーCB-19取扱説明書

### 1. 切断・曲げ対象材

鉄筋コンクリート用 棒鋼	種類	S R 30又は S D 30(引張強さ60kg f/mm <sup>2</sup> 程度)
	太さ	φ 13mm～φ 19mm D 13～D 19

(注) φ 10は切断出来ません。

### 2. ご使用前に

六角バーをローラー取付ピンにネジ込んで下さい。

(六角バーは分解した状態で梱包されています。)(図-1)



図-1

### 3. 使用方法

#### (1)切断

①刃を全開させる。(ハンドルをいっぱい開き、六角バーをAの位置に回す。)

(図-2、図-3)

②鉄筋材を切断部に入れる。

③ハンドルをいっぱい閉じる。(ギヤが進み、カチッと音がして止メ爪が入る。)

(図-4)

④ハンドルを開け、カチッという音(送り爪が次のギヤに入る)がしたらハンドルを止める。(図-5)

(注)そのままさらに開くと爪が外れる。

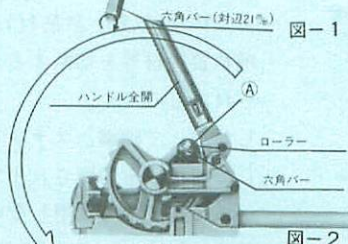


図-2

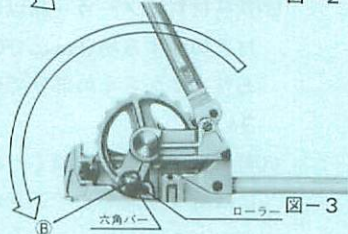


図-3

⑤完全に切れるまで③～④の操作を繰り返す。

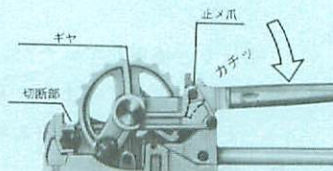


図-4

#### (2)180°曲げ

①切断の時と同じように全開状態にする。

(図-3)

②鉄筋をセットする。180°曲げの場合のみ本体より5cm以下にセットして下さい。それ以上にセットすると鉄筋が本体に当り、180°に曲がりません。(図-6)

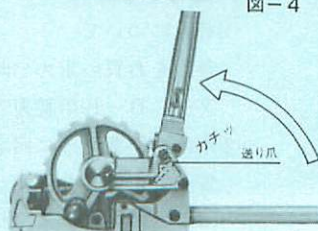


図-5

③切断と同じようにハンドルを開閉してギヤを送る。(曲げローラーが進み、曲げが行われる)

④曲げ後の鉄筋取り出しは、鉄筋が反発力により喰い付いた状態になっているのでハンドルを全開し、ギヤと止メ爪

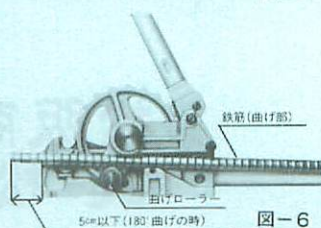


図-6

をフリーにして鉄筋を緩めてから行う。(図-7)

この時、鉄筋の反発によりギヤが勢いよく回ることがありますので手足を近づけないよう十分注意して下さい。

※ハンドルを全開する時、ギヤと止メ爪の噛み合い部に荷重が加わった状態となっていますので図-7に示す全開位置より約20°のところでハンドル操作が若干重くなります。

### (3)90°・135° 曲げ

180°曲げと同じように操作するが、鉄筋を所定の角度(目視で確認する)に曲げたらハンドル操作を止め、ハンドルを全開して鉄筋を取り出す。

## 4. 注意事項

(1)刃は棒鋼(軟鋼、鉄筋材)及びレール、各種軟質線材等を切断するために特に製作されたものです。

したがって硬鋼、ステンレス鋼、熱処理した線材等を切断されますと損傷の恐れがありますので使用しないで下さい。

(2)鉄筋材料でメーカー品以外の材料や再生材を切断する場合は部分的に硬いものがありますからその部分で切断しないで下さい。

(3)軽快にご使用して頂くため「動く部分」には時々注油をして下さい。(刃、ロッド、ギヤ、爪、ハンドル、曲げローラー等)

(4)長くご使用していただいておりますと、切断時刃先のスキマが多くなってきます。刃を長持ちさせる為には時々溝付ナットを締め直し刃先のスキマを調整して下さい。

## 5. 備考

### (1)替刃について

替刃をお買い求めの時には、カットベンダーCB-19用替刃とご指定下さい。

(2)本体を作業台等に固定して頂きますと、安全で安定した作業ができます。取付けは市販のコーチスクリュー(φ9)が便利です。

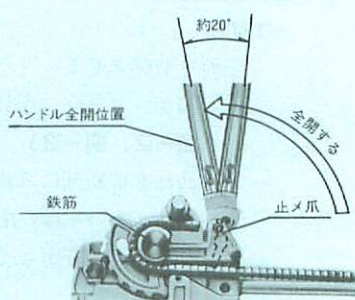
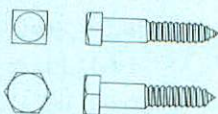


図-7



松阪商事株式会社  
株式会社 松阪鉄工所